

Weekly コラム

平成 29 年 8 月 8 日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4 号館 4 階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

【100 年後の未来】

私たちは今当たり前のように携帯電話を使い、いつでもどこでも相手と直接話をする事ができ、お店に足を運ばずにインターネットで欲しい物を買うこともできます。それを 100 年以上も前に明確に分析し予測していた人物がいたそうです。

1901 年に当時の報知新聞に掲載された『20 世紀の予言』、この記事には 20 世紀の未来予測として科学技術の進歩が 23 項目予測されており、「無線通信の進化で遠距離でも話しが可能になる」、「写真電話の技術によって買い物が便利になる」、「暑さ寒さを調節する機械が発明される」、「主力エネルギーは電気になる」、「列車は非常に進化し冷暖房設備完備で速さは時速 80 キロへ」、「七日間で世界一周可能」などが記されています。携帯電話やインターネット通販だけでなく、エアコンの普及や、電気社会の拡大、新幹線の誕生など、まさに現代の社会を見事に的中させています。この記事を作成したのは、明治・大正時代の作家、村井弦斎(むらい・げんさい)氏とされていますが、彼がなぜこれほどまでに未来を読み解くことができたのかは謎とされたままです。

かつて予測された未来が実現化されている今、世界の研究者たちが予測するさらなる 100 年後の 22 世紀の未来予測はどのようなものなのでしょう。とても信じられない内容もありますが、少しご紹介させていただきます。

「知能道路スマートウェイが世界中に普及し交通事故ゼロ、自動運転により最短時間で目的地へ」、「月面に都市が開発され人気観光地に」、「ナノテクノロジーの発達により、モノを原子レベルで分解・組み立てできるようになり、ポケットに入るサイズの車や飛行機が実現」、「ありとあらゆる身体の臓器が交換可能となり、120 歳を超えても見た目が若いまま、ほとんどの病気が事前に分かる」などです。

さて、今度はこの未来予測がどこまでの中するのでしょうか。もしかすると研究者たちの予測する未来はもはや“予想”ではなく“目標”であり、すでに実現への道筋が見えているのかもしれませんが。かつての村井弦斎氏も渡米し留学経験を持っているそうなので、その際に当時の最新研究に触れ、その可能性に期待で胸を膨らませながら未来の予測をしたのではと考えると、今予測されている信じがたい未来も、信じざるを得ない日が来るのではないのでしょうか。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。